火災警報の話

気象は火災に密接な関係があります。風の強い日に火事がおきると大火になり易く、また空氣中に含まれている水蒸氣の量（この度合を濕度といいます）が少いと、つまり空氣が乾燥していると火事がおき易くなります。水蒸気は空氣にばかりでなく空気中にあるいろ〳〵の物、例えば木材衣類家具などにも含まれていますから、水蒸氣の量が多ければ物は燃えにくく、少なければ燃え易くなるわけです。多から春にかけては空氣が非常に乾燥し、特に春先は、季節風も強く、したがつて火事も多く発生しています。そして火事がおきると大火になり易い季節なのです。また裏日本は、地形の関係からフエン現象といつて乾燥した比較的高い温度の強風が日本海に流れることがありますが、こんなときよく大火がおこります。留萌の今までの大火も全部南風の吹いたこんなときに発生しております。

火災警報は、こうした風や濕度の関係でモシ火事がおこるも大火になり易いという時に、市長が發令する警報で、半鐘やサイレンをならしたり、掲示板、赤白の旗や吹流しを出したりこのことを皆さんに知らせに廻つたりして皆さんに知らせます。火災警報が發令されたら、これが解除されるまで人々は火の取扱に注意し、絶対に火事を出さないようにしなければなりません。

◉火災警報發令信号

半鐘　●—●—●—●（カン　カン　カン　カン）
サイレン　●（約三十秒）約六秒休む●（約三十秒）
掲示板　火災警報発令中（赤地に白字）
旗と吹流し　赤と白

◉火災警報解除信号

半鐘　●　●—●（カーン　カン　カン）
サイレン　●（約十秒）—約三秒休む—●（約一分）
掲示板を取りはずす。旗吹流しをおろす。口で傳達する。

家庭メモ

☆傳染病の季節です☆

家庭の台所をあずかる私達家庭の主婦は次のようなことに注意して、家族の者を傳染病から守りましよう

1 調理の前、用便の後、外出から歸つた時、食事の前などにはかならず手を洗うこと。
2 生水をのまず湯ざましでのむこと。
3 生ものは煮たり焼いたりして食べること。
4 こわれたごみ箱はなおしてハエの住み家を作らぬこと。
5 ねずみが出入りできないように下水や破損の場所などを修理すること。
6 夜具類の日光消毒、下着類の洗濯なども手まめにする。
7 毎日使う布巾、まないた、たわしも日光消毒をすること。

☆夏の食中毒☆

今年のメーデーに東京のオマワリさんたちが警備にあたつている最中、急に吐気や腹痛をおこし、二十七名もの入院患者を出しました。調べてみたらおひるにたべた〃オニギリ〃。これをつくつた大衆食堂の女主人は手に水虫をもつてウミがでていたし、また専門の手洗い設備がないという不潔さが重なつて大變な結果になつてしまつた。これは手を洗わないから調理人の手に食中毒を起すぶどう球菌がついていて〃オニギリ〃につき、オニギリの暖さと水分と榮養とで菌はどんどん繁殖してしまつたというわけです。このようにこれから暑さに向うと高温多濕の日が多く細菌による食中毒の絶好な發生日和になります。

みなさんは食品衛生の手はじめである手洗いを調理前によく勵行し、もし手に化のう傷があつたりへんとう腺炎になつているときにはなるべく調理に従事しないようにし、夏の食中毒を防ぐようにいたしましよう。

元町大火　義捐金品寄託者芳名

（七月三十一日現在）

（見舞金）

△金三千円　留萌漁業青年研究会、△金七千九百円　春日町民一同（代表高松均）△五千二百円　春日町婦人会一同（代表赤間ミヘ）△金三千円　幌糠婦人会、△金一千円　藤崎萬里、△金三千円　原幸藏、△金一千円　原会計事務所職員一同　△金一千同　原田太八、△金五千二百円　生長の家留萌法友相愛会、△金五千円　錦町三丁目新交会一同　△金一万五千円　留萌市議會議員一同　△金五万円　芦別市長側見清一、△金三万円　芦別線鉄道建設促進期成会、△金五千円　岩内町長山本律、△金一千圓　北酒連留萌支店、△金一千円　天理教留萌分教会中村源造　△金八百円　天理教豊萌分教会佐中仙造、△金一千五百円　天理教留萌港分教会岡崎克己、△金二百円　佐藤留子店、△金八百十円　沖友会一同、△金一千円　新潟縣吉川吉三郎、△金五千六百五十一円　高野山金剛講赤間支部（代表東サツノ）△金三百円　大和田主婦の会（代表小林トミエ、平野フクエ）△金一千円　壽都町河野巌、△金二百円　旭川市畑饗作、△金三万円　天塩鉄道株式会社、△金二千八百五十円　留萌保健所職員一同、△金六百六十円　三泊婦人会、△金五千一百五十円　樽真布部落会、同婦人会、同青年団、同農協婦人部、△金三万円　紋別市長宮尾貫一、△金二万円　紋別市議会議長辰田長吉、△金一万二百二十二円　下川町キリスト教会川田恒夫　△金一万円　沼田町留萌鉄道株式会社長田淵助六、△金二千円　幌延婦人会、△金三万円　留萌港運株式会社、△金二千三十円　小平村役場職員交際会、△金一万六百四十円　小平村小平町婦人会、△金二千三百円　小平村達布地区稲穂婦人会第一部落会、△金四千八百円　小平村達布本町婦人会　△金五百円　達布營林署官舎一同、△金三千八百円　達布中央婦人会第二部落会　△金四千円　小平村栄町婦人会、△金二百七十円　小平村達布地区友和婦人会、△金五百円　小平村花岡婦人会、△金五万三百五十円　羽幌町長渡部賢次郎扱、△金三千圓　羽幌町役場職員一同、△金五百圓　達布營林署官舎、△金一万圓　浦河町主婦の会員一同（代表堤田のぶえ）△金一万八千九百七十二圓　札幌市長高田富與扱、△金二万四千八十五圓　深川町社会福祉協議会、△金七千圓　深川町婦人団体連絡協議会（代表鷲田サト）△金二千圓　金光教本部教所、△金一千四十圓　港南中学校二年D組一同、△金五千六百圓　浦河小学校ＰＴ会（代表山崎アキ子）△金二千圓　林カネ、△金百圓　松井、△金一万圓　大和炭砿大和田砿業所、△金五千圓　小川元明、△金三千三百圓　全日本自由労組函館支部、△金三十二万四百二十五圓　留萌タイムス（社長齊藤道忠扱）△金一千圓　中川村長齊藤吉平、△金一千圓　夕張市（匿名）△金三千百五十圓　農協青年婦人部、△金三万圓　赤平市長遠藤勝太郎、△金一万圓　赤平市議会議員一同、△金五百圓　北見市（匿名）△金二万九千七百二十圓　沼田町長青陽松太郎扱、△金一万圓　美唄市長菅秀甚、△金一万圓　美唄市議会議長表猛雄、△金五万圓　日本私鉄総連北海道地方労働組合、△金三千圓　生長の家深川誌友相愛会有志、△金五千圓　浦河第一中学校ＰＴ会（代表尾崎義雄、芋毛スシ）△金一万五千圓　原田太八会　△金七万三千六十圓　増毛町扱、△金一万二千六十圓　焼尻村長志水要、△金一千五百圓　留萌農協青年部、△金一千三百八十圓　小平村秀浦実践会、△金一千八百圓　小平村広富実践会、△金二千七百六十五圓　小平村一区実践会、△金二千六百五十圓　小平村二区実践会、△金三千三十圓　小平村三区実践会、△金一千二百六十圓　小平村四区実践会、△金六百七十圓　小平村元濱実践会、△金九百圓　小平村千松実践会、△金一千四百八十圓　小平村豊濱実践会、△金三千七百四十八圓　鬼鹿婦人協議会　△金三千八百三十七圓　達布小学校、△金四千八百八十圓　小平村婦人会、△金一千圓　中川村稲穂婦人会、△金一千圓　久婦人会一同（代表中山節子）、△金七万八千二百九十圓　羽幌町扱、△金一千八[illegible]　赤平市平岸小中学校職員生徒一同、△金一千圓　青雲クラブ、△金一千圓　下川町身体障害者福祉協会支部長井上秀夫、△金一万二百八十一圓　札幌市福祉事務所長草島晋三郎、△金九千一百十三圓　苫前漁協婦人部、△金四万一千圓　天塩町役場扱、△金三万圓　美唄市社会福祉協議会、△金二百圓　妹背牛高橋日出男、△金一千百八十五圓　幌延村長赤松藤太郎、△金三万圓　名寄市長名取忠夫　△金二万圓　名寄市議会、△金二十四万七千二百七圓　旭川市長前野与三吉扱、△金五万四千八百四十圓　苫前町長齊藤孝治郎扱、△金一千圓　小平佛教園、△金五千圓　稚内市宗谷村珊内婦人会、△金九千圓　納内村長山口正直、△金一万五千圓　紋別市役所職員互助会（代表菅原啓）△金一千五百圓　空知郡山部村大本青年北海道連合会長加藤雅則　△金六千二百三十圓　深川町社会福祉協議会（代表眞鍋政之）△金一千百圓　留萌信號通信分区一同、△金四百五〇圓　虻田主婦会、△金四千二百二十圓　士別地区労青婦協、△金一万四千六百圓　山部村役場、△金三千圓　一戸薫、△金一千圓　向井清吉、△金六百五十圓　青園中學校一年E組　△金三万五千九百七十五圓　日本赤十字社小樽市地区長　△金三万圓　小樽市社会福祉協議会、△金一万六千四百二十三圓　天塩町長　△金二万圓　北海道市議会議長会、△金一万三千三百十三圓　札幌市福祉事務所社会課、△金八百圓　砂川市東洋高壓家族組合、△金五百圓　小平村住吉婦人会　△金四万四千七百三十五圓　旭川市長　△金一万六千七十六圓　清野、△金一万圓　士別市長、△金一万七千六百三十三圓　砂川地区労働組合協議会、△金二千三百圓　札幌市長、△金三万四千二百五十圓　北龍村長、△金一千圓　室矢保文村田勉、△金四万一千六百七十七圓　羽幌町長、△金二千圓　猿払村長、△金四万圓　北海道土佐犬普及会留萌支部、△金一千五百五十三圓　砂川市福祉事務所、△金一万一千九百五十三圓　秩父別村社会福祉協議会、△金二十九万七千三百九十五圓　日本赤十字北海道支部長

累計　二百九十七万三千三百二十八圓

（救援物資）

△衣料日用品九包　北海道文化服装學院生徒職員一同　△漬物四樽　佐々木六郎、△衣料品一六〇点　開運町子供を守る母の会、△正油三〇本　井原酒店、△衣料セトモノ四六五点　全道廳職組家族組合協議会、△衣料セトモノ一包　渡邊清、△衣料三〇点　西田古物店　△茶碗七八〇ケ、ナベ二六〇ケ外一件　留萌聖公会、△漬物三〇貫馬鈴薯五俵　春日町民一同（代表高松均）△衣料二四点　小平村臼谷田中アキ、△衣類六二〇点靴八点外二件　幌糠婦人会　△衣料三十五点　秩父別村青木輝夫、△衣料小包一個（匿名）△衣料二〇〇点靴二〇足外一件　留萌友の会（代表村田美緒）△豆ふ三〇ケ油揚十枚　白鳥半次郎　△衣料六点　立花クニ、△衣料六点　八重樫保子、△衣料十点　加藤、△衣料七点　池田、△衣料十一点　本井モト、△衣料六点　酒井ヨシエ、△衣料八点　岩崎、△衣料七点　佐藤八重子、△衣料三点　木村ヒデ　△衣料五点　木村トミ、△衣料五点　高橋アヤ、△靴三点　宮沼、△衣料六点　池田、△衣料一個　江部乙村植淵、△衣料品外雑貨五個　天理教留萌分教会中村源造、△衣料品一個　天理教豊萌分教会佐中仙造、△衣料品一個　天理教留萌港分教会岡崎克己、△衣料三二点セトモノ七点外三件　矢野服装裁断學校、△衣料八〇点　錦町一丁目二十町内（代表藤井タメ、藤本マサ子）△衣料一包　達布營野商店、△衣料四点　白鳥きぬよ、△衣料十点　竹内ソメ、△衣料四点　米倉ふゆ、△衣料五点　靴三点　阿部タケ、△衣料二点　三浦千恵子　△衣料一包　東病院高見利弘、△衣料二包　大和田主婦の会（代表小林トミエ、平野フクエ）△正油一合瓶二四〇本　留萌米穀株式会社、△衣料二点　樽真布部落、△衣料一包　秋田屋旅館、△衣料一包　中井義雄、△衣料七点　糸京子、△衣料二〇点　留萌港運株式會社、△雑誌一個　深川町盛安庄吉、△衣料一五一一点　小平村小平町婦人会　△衣類三六点外一点　小平村達布地区稲穂婦人会第一部落会、△衣類二点　達布本町婦人会、△衣類一三二点外二件　達布營林署官舎一同、△衣類三八点外一件　達布中央婦人会第二部落会、△衣類一一五点外二件　小平村栄町婦人会、同町々内会、△衣類二一〇点外三件　達布地区友和婦人会、△小包一ケ　東京都新妻イト、△日用品一ケ　名古屋市竹澤、△衣料六五五点セトモノ五五ケその他十一点　港北婦人会、△衣料日用品七包　帆苅質屋、△衣類五二点　飯島功、△衣類二〇点　最上寺一、△ござ（新）七〇枚　柴田力雄　△衣類四包　旭川市生長の家白鳩会青年会（代表鈴木昇）△ランドセル一個外二点　松本由美子、△衣類小型三輪一台　旭川市北海屋商店旭川友の会竹内、△衣類二五五点　三泊婦人会、△衣料二個　禮受町婦人会（代表祐川ハル、中村トミ）△衣料一四点　港南中學校　△衣料一個　東京都佐中実　△衣料三個　浦河小學校PT会、△衣料一包　佐藤辰雄、△衣料六二包外二件　深川町社会福祉協議会、△い料三個　金光教本部教所　△い料三五個　南町自衛隊官舎職員一同、△い料一個　下川町長宮地誠次、△い料一個（匿名）△い料一個　東京都佐中実、△白米八升　中幌糠青年団長田道成一、△い料品類一式　旭川市長前野与三吉扱、△い料五個　藤山婦人会（代表赤間きよい、駒崎幸）△い料一包　新得町（匿名）△靴三点　佐藤龍雄、△鉛筆三六打　小樽市太田ミエ、△い料五個　△鉛筆五打　道漁連職員一同、△い類八点白米八俵二升五合外雑穀七升　農協青年婦人部、△い類一個　夕張市北陸中學校菅野武之、△い類一六点　安藤清子、△い類一個　日本ルーテル教会（一已村）ヒューオウ牧師、中村弘志、△い料二六九点　沼田町長青陽松太郎扱、△い類三個　名寄市母子会　青野ハギエ、△一二個　東京貿易運輸KK横濱支店、△い類一個　上川郡神楽町千代ヶ岡婦人会　△い料七個　旭川第一中学校PT会（尾崎義雄、芋毛スエ）△い料一、六〇二点　増毛町扱、△い料二点外二点　三泊婦人会、△学用品一包　達布小学校、△小包二個　赤平市長遠藤勝太郎　△い料一包　壽婦人会、△い料一包　函館市社会福祉事務所、△ビスケット一五包　明治製菓KK、△い類五〇点　釧路市武田昇、△い類一六包　美唄市福祉事務所、△い類一包　稚内市曲淵社会福祉協議会、△い類二包　岩見沢福祉事務所　△い料六個　東京貿易運輸KK、△粉ミルク二函　明治製菓KK、△バター三函　練乳一函　クローバーバターKK、△薬類一函　三協製薬KK、△い料一個　苫前漁協婦人部、△い料一個　岩内町住吉簡保、△い料二個　岩見沢母子會、△学用品一個　歌志内中學校、△い料一四個　札幌福祉事務所、△い料九個　美唄市福祉事務所、△い料四個　北海道母子連合會、△い料一個　浦河町幌別婦人会長田谷とよ、△い料一一包　天塩町役場扱、△い料一一、七七五点　旭川市長前野与三吉扱、△い料一三八点　羽幌婦人会、△い料一個　富山縣薬業連合会、△い料品一〇二個　砂山地区労働組合　△い料品一個　一已農業高校、△い料品一個　一已農業高校生、△白米その他四個　苫前町長、△い料品二個　赤平市長、△い料品一包　斜里青年会議所

★花火で遊ぶ時の注意★

夏の夜のたのしい花火もその遊び方が悪いと大へんな事故のもとになります。花火で遊ぶときは、次にあげる注意は必ずまもつて下さい。

㋑**天候に注意**
乾燥した日が続いたり、風の強い日、火災警報がでている日は、やめるようにしましよう。

㋺**まわりに注意**
木のへいや、かやぶきの屋根などの、燃えやすいものの近くでしないこと

㋩**後しまつに注意**
燃えカスは残り火のないことをたしかめてから安全な場所へすてること。

㋥**そのほか**　火をつけるローソクやマッチの取あつかいにも十分注意して下さい。

郷土室 ⑰

＝漁業＝

文化三年目付遠山金四郎勘定吟味役村垣左太夫等西蝦夷地を巡視して留萌に来ましたが、その日記中に次のようなことが記されています。

ルルモッペ場所
運上金九百両上納
松前町人　栖原六右衛門
金参拾両　秋味立船冥加金
金弐拾両　鰊網釜運上〆
年納メ
金拾両　秋味上乗金
金八両　差荷物代

文化九年に幕府は、東蝦夷地直捌をとりやめ、各場所の請負を入札させておりますが、入札場所十九ヶ所中九百両以上の運上金を納めたのは、僅かに四ヶ所にすぎません。当時の留萌漁場の盛であつたことが想像されます。

文政年間に至つても留萌の鮭漁は、豊漁であつた模様で「北夷談」という本の文政四年八月二十八日の記事に「和人、唐人大勢いて殊に此の季節は鮭の漁中ゆえ別して賑い、今日の漁事は一網に鮭千束（二十本を一束という）も入りしを引揚げし」とあります。

留萌漁場発展史に、一時期を劃したのは、沢山の和人の移民を招来した天保時代でありまして、移民の殺到と漁場の盛況とは、当然漁獲方法の問題がおきたわけです。

従来鰊漁に使用された網は、差網でしたが、文化の頃に至り、当地方に於ても鰊建網を使用するものが現れたのであります。

建網は、濫獲と差網に従事する細漁民保護の為に、寛政の頃より厳禁されていたのですが、此の時代に各漁場は、競つて建網を雑魚網の名義をもつて使用したので、天保十四年に再禁止の厳令が布達されました。

その後、特殊事情による特定地区のみ建網を許可されるようになりました。